利用ガイド

構成

『金融機関の法務対策6000講』は次の6巻から構成されています。

- I 金融機関の定義・コンプライアンス編
- Ⅱ 預金・内国為替・投資商品編
- Ⅲ 付随業務・周辺業務・Fintech編
- Ⅳ 貸出·回収編
- V 担保編
- VI 保証·取引先支援·事業再生編

各巻はそれぞれ章、節、項から構成されています。

「目次」には項目ごとの見出しと設問が示してあります。

見出しには巻ごとの通し番号を付してあります(Iは10001~、Ⅱ は20001~、Ⅲは30001~、Ⅳは40001~、Ⅴは50001~、Ⅵは60001 ~)。テーマごとに順を追って項目を配列することにより、体系 的に実務を理解できるよう配慮しました。

設問の構成

本書の各設問の構成内容は、原則として、設問に対して、結論、 解説の形式をとっています。

結論は、実務に対応できるように簡潔に指針を示してあります。 解説では、最新の法令・判例等に基づき、基本的な考え方と実務 上の留意点をわかりやすく説明してあります。

解説にあたっては、類似する設問、もしくは関連設問についてあ る程度重複した説明となっているところがあります。また、他の 設問を同時に参照したほうがわかりやすく、理解に役立つと思わ れる場合には、文中で参照すべき該当設問番号を(【10033】参 照)のように示してあります。

法令・判例等の引用にあたっては略記を用いましたので、「主な 法令・判例・文献等の表記方法」を参照してください。



PC ビューと タブレットビュー

お使いのデバイスにより表示画面が下記のように切り替わります。



PC ビューでの操作

左側には目次や検索結果、画面の右側には 6000 講設問本文が表示されます。 各項目をクリックすることで、該当するコンテンツが画面の右側に表示されます。





検索アイコンをクリックすることにより、画面検索に切り替わります。 検索窓に閲覧したいキーワードを入力すると、該当するページの一覧が表示されます。複数 の単語を空白で区切り入力することにより、検索の絞り込み(アンド検索)ができます。



#ハッシュタグ検索

#のアイコンをクリックすることにより、ハッシュタグ検索に切り替わります。 検索窓をクリックし閲覧したいキーワードを選択すると、該当のハッシュタグがついた



リンク

リンクをクリックすることで

該当ページにジャンプします。

元のページに戻れます。

戻る場合は、ブラウザの戻るボタンで

ページ内のリンクをクリックすると、該当ページにジャンプします。

 18.7 .
 なお、平成30年の相続法改正によって創設された家庭裁判所の判断を経ないで他の共同相続人の同意を得ずに単独で払戻請求を行う場合の対応については【20257】を参照のこと。

 ような違いがある

 預金官死亡の事実を知った場合の対応

 のような違いがある

 日名気な違いがある

 症託の解約請求を

 日名気のないで支払う場合もありうるが(この支払は有効である。
 [20231]参照、金融機関が預金者の死亡をなんらかの方法で知った場合は、第一段階として、金融機関が預金者の死亡をなんらかの方法で知った場合は、第一段階として、金融機関が預金者の私戻しを防止する措置をとる必要がある。そのためにマニュアル等に従い、③死亡した預金者との取引内容(預金曜日・金
 [第等)の確認、③コンピュータへの預金者死亡の登録によって、取扱店だけでなく全